

目 次

凡 例
日本語版への序文

第 I 部 ハンガリーの価格政策の歴史的概観

第 1 章 ハンガリーの価格政策の四つの画期
概観 1946年の通貨改革 1951年の価格改革 1957年
の農業価格改革 1968年の価格改革

第 2 章 1968年の価格改革
価格・生産構造 生産者相対価格 消費者相対価格
価格・費用構造 混合価格メカニズム

第 3 章 1975—76年の価格措置
1974年の価格政策見直し 生産者価格措置 消費者価格
措置

第 II 部 価格体系の完成化

第 4 章 価格機能の強化
経済成長経路の修正 経済と技術 価格と経済管理制度
価格討議の性格

第 5 章 価格討議
価格水準討議 為替レート討議 価格ベース討議

第 6 章 価格体系の将来的発展
価格体系発展の必要性 価格体系発展の指導原理 価格
体系発展の条件

第 III 部 1979/80年価格再編成

第 7 章 価格再編成の枠組み
予備的考察 二水準価格体系 三つの価格センター
農業の特殊な状態 価値比例価格への接近

第 8 章 1980年の所得構造
所得構造の変化 設備賦課金の廃止 外国貿易の貨幣的
ブリッジ 所得の集中化

第 9 章 1980年の費用構造
費用構造の変化 固定設備再評価の中止 新技術の相対
費用

第 IV 部 新価格体系

第 10 章 基礎材料価格
基礎材料相対価格の上昇 エネルギー源および石油工業製
品価格 金属業の価格体系 化学工業の基礎材料価格
軽工業の基礎材料価格 建設材料価格 くず価格

第 11 章 完成品生産者価格

工業財生産者価格 食品経済生産者価格 建築物価格
消費者サービス価格

第 12 章 商品流通価格 172
商業マージン TEK企業マージン 消費財取引マージ
ン 外国貿易マージン 商品輸送料金

第 13 章 消費者価格 189
1980年の消費者価格計画 1979年7月23日の価格措置
所得補償と新電気エネルギー料金表 新取引税制度

第 V 部 新価格メカニズム

第 14 章 混合価格メカニズム 206
価格規制手段 価格形態の割合 価格変動の中央管理

第 15 章 基礎材料価格メカニズム 221
世界市場の原材料価格変動 世界市場の原材料価格変動と
消費者価格 企業の価格差準備基金

第 16 章 価格監視 231
実際の市場管理 価格計算報告制度 不正利潤 不当
利得の監視 競争価格形成の情報的基礎

訳 注
訳者あとがき